

# 泉大橋耐震補強現場を体感 上狛小児童招き見学会 担い手育成へ業界魅力PR

長村組

藤原作業所長

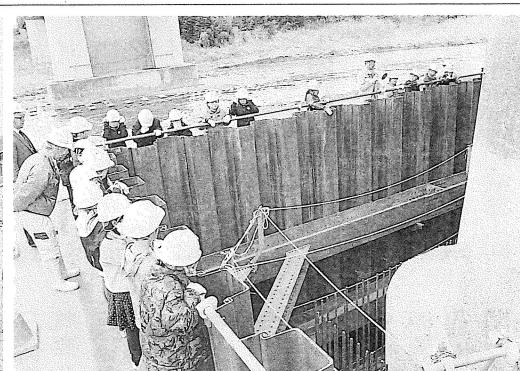
本園土木部長



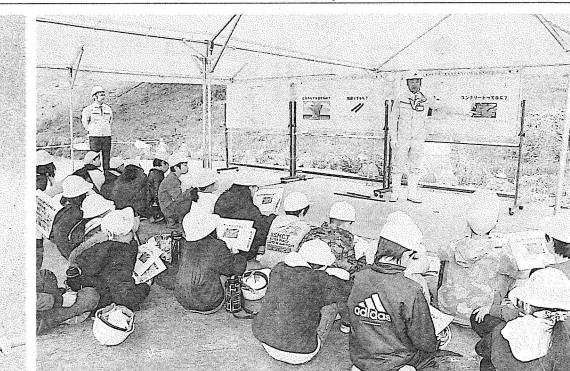
長村組（中京区西ノ京）が施工する国道24号泉下（木津川市山城町上狛東下・木津雲村）の現場で地元小学生を対象にした見学会を開いた。市立上狛小学校の4年生児童23人が参加。施工中の橋脚下部や大型重機などを見て回り、普段見ることのない工事現場を肌で感じた。空中からドローンを使った記念撮影



バックホウの実演



橋脚下部をのぞき込む児童

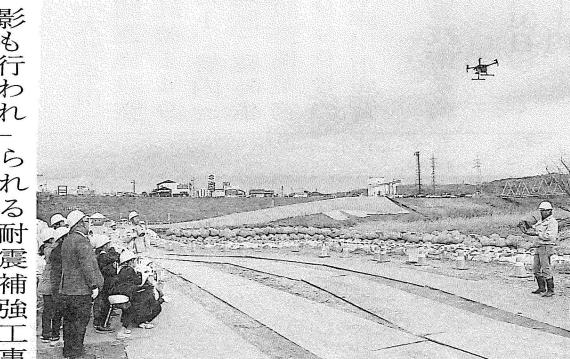


上狛小学校4年生が参加した見学会

は、長村組が建設業界の将来の担い手になる子どもたちに地域の安心・安全を守る建設工事の役割を理解しても、仕事の魅力をPRするため企画。同じく、泉大橋をはじめ市の歴史を学習していることもあり、より関心を持つも、う機会となつた。

見学会で

見学会は、長村組が建設業界の将来の担い手になる子どもたちに地域の安心・安全を守る建設工事の役割を理解しても、仕事の魅力をPRするため企画。同じく、泉大橋をはじめ市の歴史を学習していることもあり、より関心を持つも、う機会となつた。



ドローンで空中から記念撮影

貴亮作業所長は、現在の泉大橋が完成するまでの歴史や、耐震補強工事で使用する鉄筋や型枠、コンクリートの役割、施工手順などを

閉会にあたって藤原所長は「この現場にいつもいるので、わからないことなど質問があれば、気軽に聞きたくてもらえば」と話していた。工事は近畿地方整備局京都国道事務所の発注案件で、現在の進捗率は約6割。6月の完成を見込んでいる。

最後に質疑応答の時間があり、児童からは「どれくらいの地震に耐えられますか」「橋脚の位置はどの橋でも同じですか」などの質問が寄せられた。所長は「この現場にいつもいるので、わからないことなど質問があれば、気軽に聞きたくてもらえば」と話していた。工事は近畿地方整備局京都国道事務所の発注案件で、現在の進捗率は約6割。6月の完成を見込んでいる。

児童にわかりやすい言葉で説明した。その後、施工現場に移動し、工事中の橋脚下部の鉄筋や型枠などを見学。掘削で使用するバックホウの実演もあり、児童はめったに見ることのない現場に目を輝かせていた。